JAのルールを みんなで守り合う

～しっかり取り組む内部統制～

2018 JA長野県ビジョン

食と農をおこし、
一人ひとりの笑顔が生まれる地域を
みんなで実現します

平成25年1月

JA長野中央会

はじめに

このパンフレットは内部統制制度の理解のためにできるだけ図表、漫画等を用いてわかりやすく解説したものです。

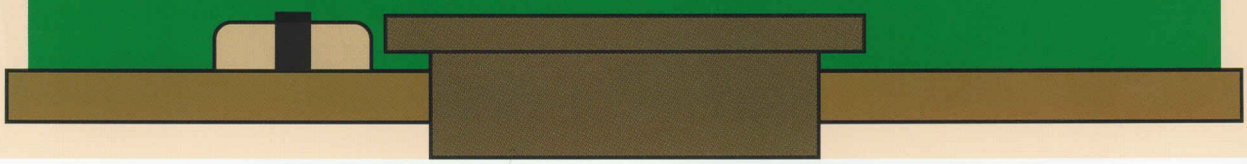
JAにおいて内部統制に無関係な役職員は一人もいません。このパンフレットを参考にそれぞれの立場で内部統制制度への理解がすすむようご活用ください。

内部統制は毎日やっている身近なもの…

誰でも内部統制を実践している

- 日報を作成し検証を受ける（検証）
- 伝票に印鑑を押印してもらう（検証）
- 現金精査を実施する（照合）
- 本人確認の実施（法令遵守）
- タイムカードを押す（労務管理）
- 管理者カードの使用（検証）
- 物品の購入担当者と支払担当者を別々に配置する（職務分掌）
- 上司への報告、連絡、相談（服務規律）

等…

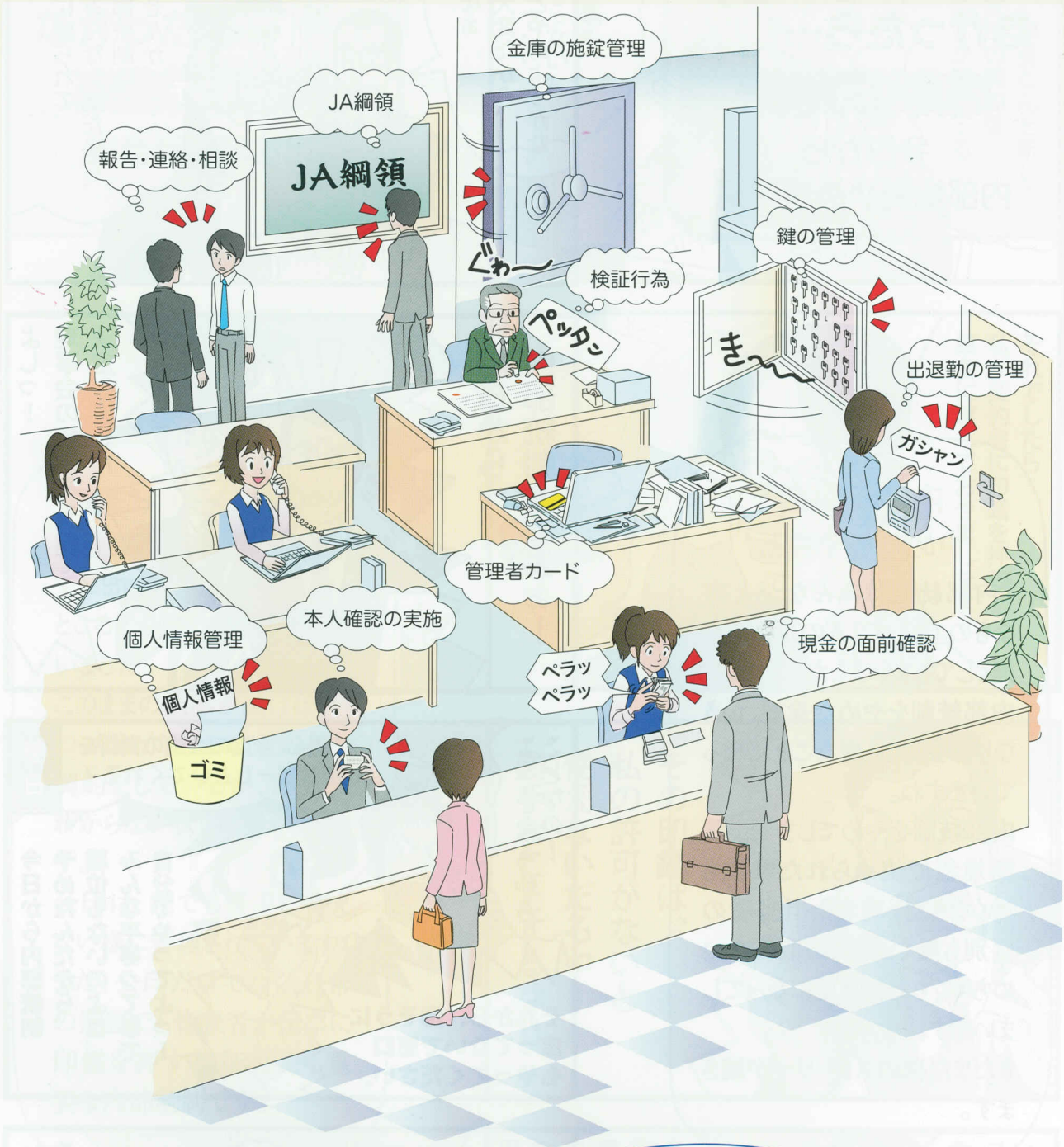


職場は内部統制でできています。
まず、身の回りにある普段やっている内部統制を理解することから始めることが大切です。

とむとむ博士

ぽっちゃり太めの某研究所の理事長というエライ先生。JAの内部統制の取組みにアドバイスをしています。

身近にある内部統制…

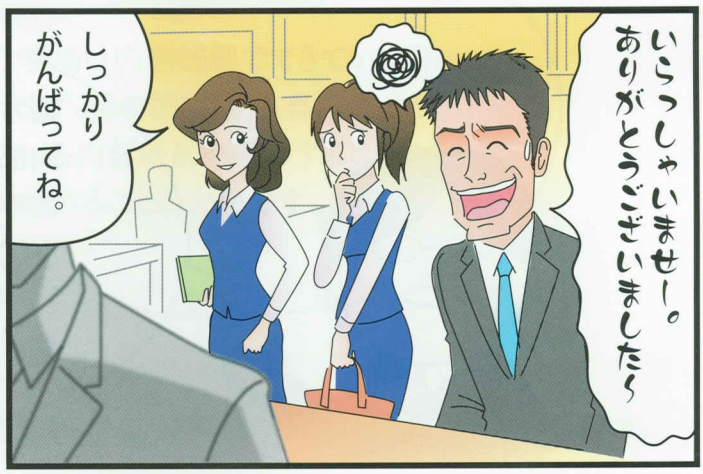


通常の業務の中には、
内部統制がたくさんあります。
次の頁から、もしも内部統制が
なくなったらどうなるか、
という架空のJAのストーリーを
見てみましょう。

もしも内部統制がなかったら…

その1

今日から内部統制やめます編



内部統制をやめてしまうと

「内部統制はみんなが大変なもの」としてJAのルールを無くしてしまいました。
内部統制をやめた途端、いきなり部長が大変なことになっていますね。
内部統制をやめてしまうと、職制規程で決められた職位も無くなり、管理者と担当者の区別も無く、統制の取れないめちゃくちゃな職場になってしまいます。
まだまだ次のストーリーが続きます。

もしも内部統制がなかったら…

その2

組合長が困る編

印鑑1つも内部統制

組合長の印鑑を勝手に使ってしまい組合長の知らないところで契約が成立してしまいました。

このままの状態が続けば、いつ、だれが、どこで、どの様な契約をしているか、まったくわからない状態になりそうです。

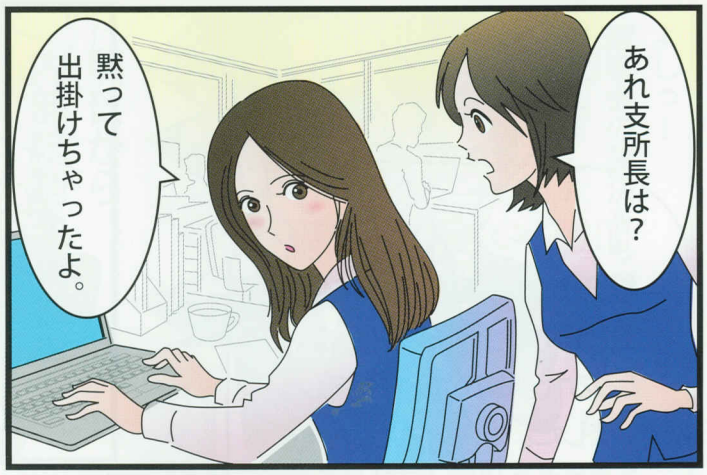
公印は、誰でも勝手に使えない様に管理されています。

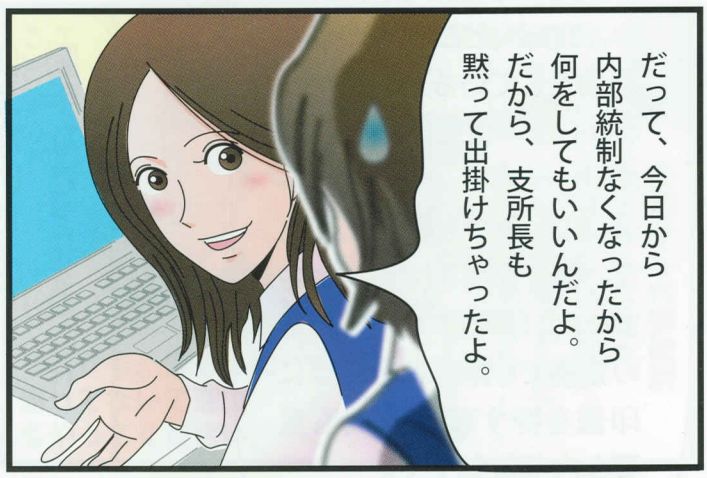
また、公印だけでなく、日常の業務でも管理者が伝票に印鑑を押す検証行為も重要な内部統制です。

もしも内部統制がなかったら…

その3

一般職員も困っちゃう編





こんな職場で働きたい…？

支所長が勝手に出掛けてしまい、窓口担当者が困っています。
これでは、支所の統制も取れなくなり、みんな好き勝手に行動し、組合員にも迷惑を掛けてしまいます。
職員みんなでルールを守らないと、職場の雰囲気も良くなりません。

もしも内部統制がなかったら…

その4

組合員が困る編

組合員等への対応

電話を受けた担当者が、組合員からの修理の問い合せに対応しなかった為に組合員も困っています。このままでは、苦情にもなりかねません。

こんな事が続くJAは、組合員から見放されてしまいます。

さらには、内部統制がないとJAだけでなく、組合員や農業まで大変なことになります。

内部統制はJAのルールをみんなで守り合う仕組み…

架空のJAのストーリーを見てきましたが、もしも内部統制がなかったら、さらに大変な状況になってしまいます。
内部統制がないJAは明日にでも信頼を失ってしまいそうです。役員、職員もやる気がなくなってしまいますし、組合員にも農業にも重大な悪い影響を与えてしまいます。
内部統制はJAの役職員みんなの自治（内部自治）ということであり、JAのルールをみんなで守り合う仕組みのことです。
ではちょっとここで、内部統制は何のためにやっているのか目的を見てみましょう。

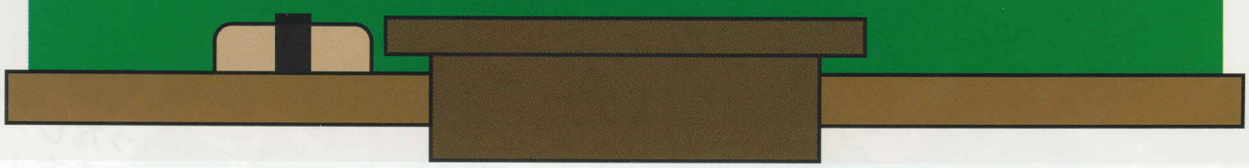
内部統制の4つの目的

1.業務の有効性及び効率性
事業活動の目的の達成のため、業務の有効性及び効率性を高めることです。

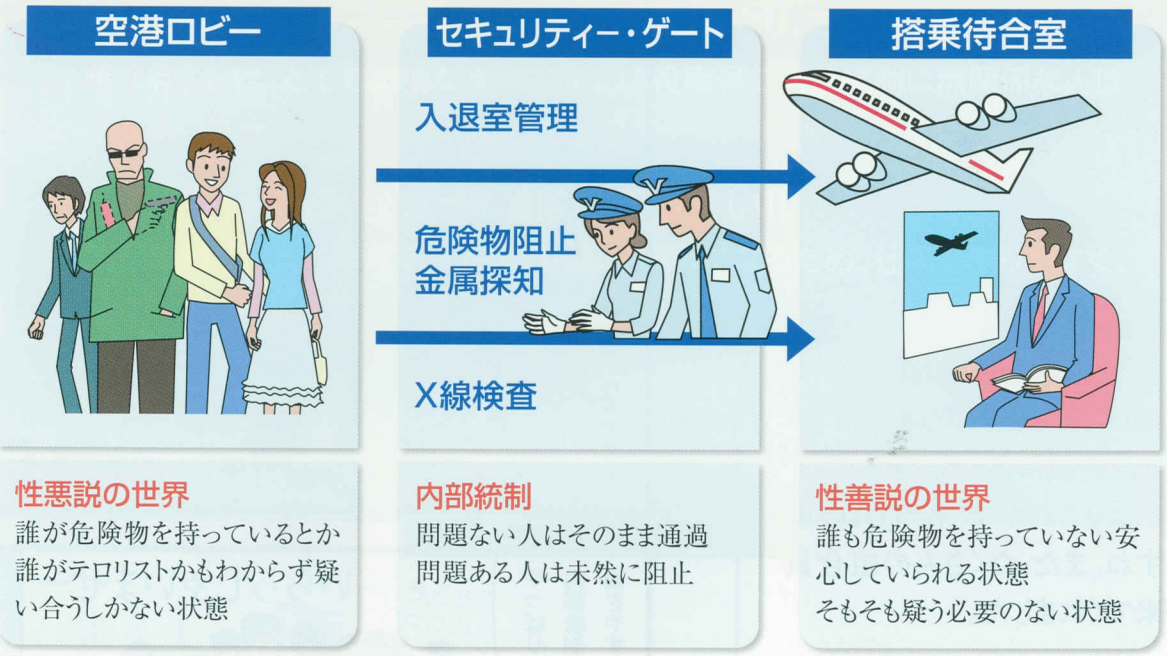
2.財務報告の信頼性
財務諸表及び財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性のある情報の信頼性を確保することです。

3.事業活動に関わる法令等の遵守
事業活動に関わる法令その他の規範の遵守を促進することです。

4.資産の保全
資産の取得、使用及び処分が正当な手続及び承認の下に行われるよう、資産の保全を図ることです。



内部統制は職員を疑う性悪説だからダメだという方もいらっしゃいます。でも、実は、内部統制は、ダメな性悪説の世界からお互いに幸せな性善説の世界に至るための「廊下」です。

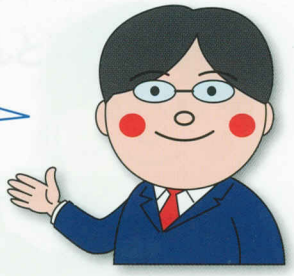


解　説

空港ではセキュリティー・ゲートを通ってきちんとチェックされる仕組みに従うことで、そこを無事に通れた方は、**自らが身の潔白や危険物を持っていないことを立証しなくても、空港が身の潔白や健全性を証明してくれる仕組み**が整っています。

この、セキュリティー・ゲートにあたるものが、JAでいうならば、職場での内部統制の1つ1つの仕組みや手続きなのです。

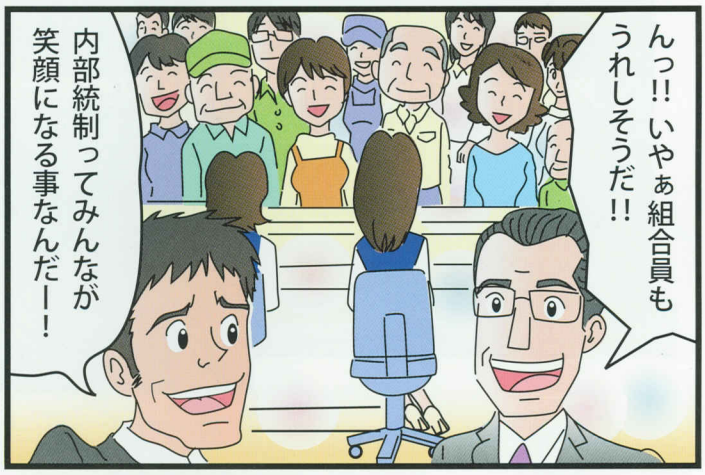
ここで見てきた架空のJAもそろそろ内部統制に再び取り組むようです。さてさて、内部統制を始めた結果、JAの職場はどうなるのか見てみましょう。



もしも内部統制がなかったら…

その後

内部統制はじめました編

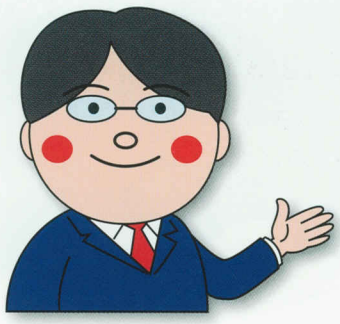


内部統制やります!

内部統制に再び取り組んで、みんなが笑顔になっています。やっぱりこれが本来のJAの姿ですね。また、たくさんの組合員が来てくれました。

みんなで取り組む内部統制

お互いがお互いを信頼しあう為に、JAのルールをお互いに守り合う仕組みをもち、職場の風土・雰囲気・言動といった身近なところから内部統制を実践していきましょう。



最後にまとめ…

・内部統制は特別なものではありません!!

内部統制は既にJAの組織、体制、仕組み、手続き、として存在しており、まったく新しいシステムとして導入するものではありません。

・内部統制に無関係な人はいません!!

JAのルールや仕組みを決め、これを各役職員が守り、これを評価・検証・改善することは、とても重要な事項です。JA役職員で内部統制に無関係な人は一人もいません。

・内部統制の整備された職場は働きやすい!!

内部統制によって業務プロセス(手順)が明確になるため、仕事もやりやすく、働きやすい職場になります。

不祥事未然防止に大切なこと

不祥事の未然防止は、内部統制の重要項目の一つです(法令等遵守)。
内部統制が有効に運用されていない職場は、不祥事を起こす可能性も高まります。
ここでは、すべての役職員が自ら不祥事に関わらないために、日常的に心がけ判断に迷ったときに思い出すことを紹介します。

- 自らの行動が、組合員・JA・消費者の期待を裏切らないか
- 自らの行動が、法令・諸規程に違反していないか
- 自らの行動が、マスコミ報道されてもきちんと説明できるか
- 自らの行動を、家族に正直に話せるか
- 自らの行動は、良心に従い、本当に正しいと思うか

【コンプライアンス・マニュアル(JA全中版)より抜粋】

〈このパンフレットの活用に当たっての注意事項〉

このパンフレットは、日本マネジメント総合研究所 理事長 戸村智憲氏の協力を得て、JA長野中央会がJAの内部統制制度の理解が進むことを目的に作成いたしました。それ以外の目的での使用は禁止します。

このパンフレットの著作権はJA長野中央会および戸村智憲氏等作成関係者に帰属し、JA等には移転しません。

このパンフレットは、原則、印刷物以外の配布を禁止しています。

本パンフレット著作・制作者への連絡先

◎JA長野中央会組織経営部（全般的な事項）
Tel 026-236-2010

◎日本マネジメント総合研究所　理事長　戸村 智憲
JMRI
www.jmri.co.jp

TEL:050-3196-4513

※知的財産権に関する連絡・事前承諾・照会などは上記まで。

電子文書 JMRI 管理之印